

第 33 回(通算 1691 回)例会報告	令和 7 年 3 月 14 日(金)	環境保全例会
ゲスト	豊橋総合動植物公園 動物研究員 櫻間麻友氏、米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん	
出席報告	総会員数 54 名(計算会員数 50 名) 欠席 6 名 出席率 88.00% 前々回修正出席率 88.00%	
歌/会場	かがやく空	会場：ロワジールホテル豊橋 30F「ル・モン」12:30～

## 会長の時間



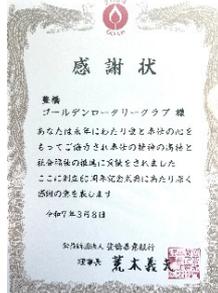
## 本多英司会長

みなさんこんにちは  
 去る 3 月 8 日、善意銀行の創立  
 60 周年記念式典があり、私、青山  
 副会長、鬼頭幹事とで出席してき  
 ました。感謝状をいただきました  
 ので、ご報告

いたします。

当日はIMと重なっていたた  
 め、式典終了後に 3 人で IM に合流  
 しました。

田原 RC が主幹し、とても賑やか  
 な大会でした。IM については後日  
 ご報告があると思います。



今、日本は、というよりも地球が様々な環境問題に直  
 面しています。主に認識されているのは、地球温暖化・  
 オゾン層の破壊・熱帯林の減少・開発途上国の公害・酸  
 性雨・砂漠化・生物多様性の減少・海洋汚染・有害廃棄  
 物の環境移動の 9 つ。これらは全て私たち人間以上に、  
 動物たちにもストレートに影響を与えています。

以前お話したが、100 年前の東京は夏の平均気温が  
 26℃を超えた日は 1 日もなかったそうですが、今は、1  
 年 365 日のうち 3 分の 1 が最高気温 30 度越えになっ  
 ています。ものすごい勢いで地球環境が変わっていて、本  
 当に待ったなしの状況になっていると痛感しています。

環境問題にも直結するもう一つの課題が「人口爆発」。

子供のころ「宇宙船地球号」という本を見ました。確  
 か当時の世界人口は 40 億人くらいだったと思います。  
 それが現在は 80 億人を超えたそうです。なんと僕が小  
 学生の頃の倍。30 年後には 100 億人を突破すると言わ  
 れています。

技術革新など、様々な方法で対応しようとしています  
 が、もしかしたら昔物語りでいっていた火星移住なども  
 現実味を帯びてくるかもしれませんね。

人口が短期間で急増すると、食糧不足、貧困、環境破  
 壊、医療・教育の不足といった問題が発生し、持続可能  
 な社会の実現が難しくなります。

人口増加そのものを止めることは難しいですが、人口  
 増加に伴う問題を緩和し、人々がより良い生活を送れる  
 ようにするために、世界中のロータリアンたちが様々な  
 活動をしています。

具体例を紹介しようといういろいろ調べていたら、ロータ  
 リアン以外でも、ものすごい活躍した人を見つけました。  
 持続可能な社会貢献で調べていたら偶然ヒットしたん  
 です。私たちの今年度の活動にも非常に関係が深いので、  
 今日はその方について紹介したいと思います。

その方のお名前は西岡京治(けいじ)氏。

なんとこの方は、私たちが今注目しているブータンで  
 すごい偉業をなした方で、「ブータン農業の父」と言わ  
 れています。

1964 年頃までのブータンは、農業国なのに土地も狭  
 く、高地で気候も厳しいため、食料の自給もできない状  
 況下にあったそうです。

その状況下で西岡氏はブータンの農業発展に人生を  
 捧げ、同国の農業の発展に大きく貢献し、ブータン国王  
 から国の恩人として「最高に優れた人」を意味する「ダ  
 ジョー」の称号を与えられました。「ダジョー」という  
 のは民間人に与えられる最高の爵位であり、同国におい  
 て唯一にして史上初の外国人授爵者となりました。「ダ  
 ジョー・西岡」と呼ばれ、現地では知らない人はいない  
 そうです。

「この国は貧しい。しかしそれぞれが幸せに思える国  
 になってほしい」と願いを込めて、私の持っている農業の  
 知識を、ブータンの人々に教え続けた 28 年間は無駄で  
 はなかった」という言葉を残し、1992 年、ブータンの  
 首都ティンブーの病院で亡くなりました。そして王室  
 と政府によって「国葬」が執り行われ、パロが見渡せる  
 丘に埋葬されました。

日本が発展途上にあった時に、このような日本人がい  
 たことに改めて感動すると同時に、とても誇りに思いま  
 した。

ブータンが親日国と言われる背景には、こういう方た  
 ちのご活躍があったんですね。

ここまでの偉業はなかなかかかないませんが、ロータ  
 リアンとしても、個人としても、まだまだやれることがあ  
 るように感じ、勇気づけられる気持ちです。

今日は環境保護例会です。

私たちの地元の宝である豊橋動植物公園で、環境保護のために頑張っておられる、(保永委員長一押しの) 櫻間様をお招きしました。櫻間様のお話をお聞きし、改めて環境保全について、想いを馳せたいと思います。

保永委員長、櫻間さん、どうぞよろしくお願ひいたします。

以上、会長の時間でした。ご清聴ありがとうございました。

### 米山奨学金贈呈

米山奨学生 ツオルモン アリウナーさん



### 誕生日祝い

お誕生日おめでとうございます!

宮川嘉隆会員



### 入会記念日祝い



宇藤 信会員 鬼頭秀幸会員

### ロータリーの友読みどころ



真野善和雑誌委員

『ロータリーの友』3月号の紹介をさせていただきます。

まずは横組から。

今月は「水と衛生」の月間ということで、P.5のRI会長のメッセージのところに「一つの小さな行動」という見出しで「ロータリーのマジックのひとつ」として、ドミニカ共和国での記事が載っています。是非ご一読を!

続きまして、P.8~P.13で、災害時のトイレ事情と影響について特集が掲載されています。「災害用トイレの種類と組み合わせ」「災害トイレってどんなものがあるの?」「携帯トイレって?」等々知っているようで知らない情報を確認しましょう。

P.14~P.17には、2025-26年度RI会長マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ氏の「マリオにつ

いて知っておくべきこと」というRI指定記事が掲載されています。P.17の中ほどの2025-26年会長メッセージ「よいことのために手を取り合おう(Unite for Good)」は注目です。

P.18~P.19には、デ・カマルゴRI会長エレクトを囲む会の報告が掲載されています。次年度を知るために是非ご一読を! 特に次年度理事会予定者メンバーにはお願い致します。

P.24~P.25の探訪④には、ロータリー文庫の紹介が載っています。

P.30の「知見を深め、知己を得る」の見出しの、第2700地区が新会員研修会・交流会を初開催した記事は、今まさに当クラブが目指している会員増強につながるものです。この地区では、入会5年未満の退会者が多かったことをうけて研修会・交流会を実施したそうです。又、在籍会員の満足度UPが増強につながる、とも記されています。目を引くブランドを育てるのも良いことですが、クラブの充実のため内部にも充分目を向けていただきたいと思います。

P.38の、アメリカがWHOの脱退を表明したことを受けて、ロータリーのポリオ根絶に関する姿勢が報告された記事も一読の価値あります。

続いて縦組P.4~P.8のSPEECHに「財産と命を守る防犯マニュアル」という佐々木成三氏の記事が掲載されています。今どきの話題です。是非ご一読ください。

2760地区の投稿としては、P.14の『俳壇』に、稲沢RCの橋本さん、海部RCの黒野さん、『歌壇』には名古屋錦RCの石井さんが、またP.21の『声』には12月号の感想として、豊橋北RCの高坂さん、名古屋東RCの柏木さんが載っています。今月は多いですね。

最後に、P.20の「ロータリーあるある相談室」に、RCの年度人事に関する意見が掲載されています。どこのクラブにもありそうな内容です。

### 会員スピーチ「波瀾万丈の人生について」



鈴木 愛会員

父が転勤族だったため転校や引っ越しを何回も経験しました。引っ越しは8回、転校は3回したようです。私が生まれた時、母が里帰り出産をしたので出身地は豊橋ですが、生まれてすぐに福岡へ。その後は千葉・愛知(名古屋)・千葉・静岡・千葉・東京…そして2002年に豊橋に住み始め現在に至ります。今では豊橋が一番長く住んでいる土地になりましたが、大人になってから住み始めたため、同窓会のご縁がなく少しさみしいです。

小学生時代、転校生としては早く新たな学校と友達に馴染まなければ…と思っており、それが上手くいかずにいじめにあったこともあり。小学四年生の1年間はとても辛い時期を過ごしましたが、子どもなりにどうしたら良いか考えるきっかけを与えられたように思います。私があるグループの皆と行動を共にしなければと思えば思うほどいじめにあうことに気づき、割り切って1人で行動するように変化したことで解決しました。5年生でクラス替えもあり、そこからは吹っ切れたかのよ

うに楽しい学校生活を送れるようになりました。

豊橋に住み始めたきっかけは体調不良でした。当時は、幼稚園の先生を目指すも教育実習で挫折し、就職活動もしないまま大学を卒業した頃。幼稚園の先生がダメなら保育園の先生にチャレンジしてみようと思い、日中は事務職、夜は保育園でアルバイトをし、将来の道を模索しつつ今の職業の元となる「商業書道」を習う日々。そんな中、週末になると39度台の高熱が出るという謎の症状に苦しみ、体のありとあらゆる場所の検査をしたのですが、結果は異常なし。ストレスが原因と診断され、療養のため豊橋に移り住みます。両親が祖母の介護で豊橋に移住していたためです。当時は元気になるまでの間、一時的に住むつもりで豊橋に来ましたが、豊橋の自然豊かな土地に癒されすっかり元気になり、素晴らしい豊橋筆と出会い、フリーランスのデザイン書道作家として活動を始め、気がついたら23年も定住していました。おかげさまで今があることをしみじみ感じています。挫折や体調不良といったネガティブな出来事も、全て意味があって起きるものなのだと実感した出来事でした。

### 環境保全例会

#### 「豊橋総合動植物公園の取り組みと保全活動」



#### 保永真生社会奉仕委員長

本日は社会奉仕委員会担当の環境保全例会です。講師に豊橋総合動植物公園から櫻間麻友さまを講師にお招きして環境保全についての卓話をしていただきます。櫻間麻友さまの簡単なプロフィールをご紹介します。

幼少期から動物園で働くことを夢見て動物に関する勉強をするため、2017年に動物看護師を育成する酪農学園大学にご入学され、獣医学群、獣医保健看護学類を学ばれました。2022年にご卒業され同年、酪農学園大学大学院にご入学され、獣医学群、獣医保健看護学類を学ばれます。修士ではアジアゾウのストレスに関する研究及び認知研究を実施されます。大学院在籍中に動物園での研究の可能性を感じており、2024年にご卒業され豊橋総合動植物公園の動物研究員としてご入園されます。動物園ではなかよし牧場エリアを担当し新人として奮闘中とのこととございます。現在はふれあい個体の動物福祉の向上を目指した研究や教育普及プログラムの開発に取り組まれております。今年度の地区補助金を活用した社会奉仕事業の際には、動物園側の担当窓口として各方面にご調整をいただき大変お世話になったお方とございます。私からみた人物像ですが、とにかく動物のことが大好きで、いつでも動物愛に溢れ、何事にも実直なお人柄。もちろん動物にだけでなく、人に対しましても愛と思いやりに溢れる言動には常々感心させられるものがあります。今後の豊橋総合動植物公園の発展には欠かせないひとりの人物と私は思っております。それでは講師の櫻間麻友さまの卓話をお願いしたいと思います。本日の卓和のテーマですが「豊橋総合動植物公園の取り組みと保全活動」になります。櫻間麻友さま、どうぞよろしくお願ひ致します。

### 豊橋総合動植物公園

#### 動物研究員 櫻間麻友氏

＜豊橋総合動植物公園の取り組み＞  
動物園には4つの役割があるとされています。



#### 1. レクリエーション

来園者の方に対し、動物園を楽しんでもらいながら動物に興味を持ってもらうことも動物園の持つ役割の一つです。

#### 2. 教育

動物を見たり触ったり、様々なイベント等を通して、生き物を身近に感じてもらい、正しい知識や理解の普及をする活動もしています。

例えば、当園で行っているものとして、子供向けには動物とのふれあいやサマースクール、大学生や専門生に対してはインターンシップや実習の受け入れを行っています。また、様々な動物のガイドも実施しています。その他、最近では大人の方向けに動物園 de サイエンスカフェというイベントも開催しています。こちらは、飲み物片手に講師のお話を聞き、講師や参加者同士との会話を楽しみながら、気軽に科学を楽しむイベントです。

#### 3. 研究

動物を飼育する上で不明な点も多くあることから、様々な研究機関と連携し、共同研究に取り組んでいます。これによって、動物の生態の解明や、飼育、繁殖環境の改善に役立てています。

#### 4. 保全

(後半に詳しく記載)

#### 5. 動物福祉

前述した動物園の持つ4つの役割を果たすための基礎となるのが「動物福祉」というものになります。当園で動物福祉の向上のために行っている取り組みの一例として、「屠体給餌」があります。例えば、ライオンなどの肉食獣にとって、狩りは最も重要な行動です。しかし、動物園で実際に狩りをさせることは問題があります。一方で、昨今、シカやイノシシなどの獣害問題がニュース等でも頻繁に取り上げられており、やむなく捕獲が行われています。しかし、この捕獲されたシカというのは、ほとんどが廃棄されています。そこで、捕獲されたシカを有効利用するために、シカの骨や毛皮が付いたまま、動物園のライオンなどに与える屠体給餌を行っています。屠体はライオンに毛皮をはぎ取る、骨を砕く、必然的に食べる時間が長くなるなどの効果を与えます。これは、野生本来の食べ方に近づけることができ、動物福祉の向上が期待できます。

#### ＜身近な生き物の保全活動＞

##### 1. アカモズ

アカモズは日本のみで繁殖し、東南アジアで越冬する渡り鳥です。アカモズは明るい林や果樹園のような場所に巣を作るため、人の生活にも密着しています。そのため、かつては日本各地に広く生息していましたが、近年、個体数が激減し2022年時点で本州と北海道の一部地域に

たった 200 羽程度が生息しているのみで、本州の個体群は早ければ 2026 年にも絶滅することが予測されています。

アカモズが危機的な状況に陥っている要因の一つとしては、ネコがあげられます。実は、ネコはアカモズに限らず希少な鳥たちの天敵になります。また、アカモズの親はネコに狙われて無事だった卵も育てることをやめてしまいます。その他、屋外に捨てられたプラスチックの糸くずなどに脚が絡まってケガをしてしまったり、車にひかれたりするとアカモズが減少している原因は様々です。そこで、2023 年に様々な機関と協力し、保全活動を開始しました。

保全活動における、当園の役割はアカモズの保護された卵を孵化させる人工孵化と、産まれた雛を育てる人工育雛です。結果としては、昨年度、世界で初めてアカモズの人工孵化と人工育雛に成功しました。現在は、野生個体数を増やす第一歩として、飼育個体数を増やしているところになります。

**2. ヤマトサンショウウオ**

ヤマトサンショウウオは、全長 10 cm ほどの小型サンショウウオです。このサンショウウオは湿地などの水辺と、陸地を行き来する生き物で、今時期（春頃）に雌は水の中に卵を産みます。

このヤマトサンショウウオも愛知県で絶滅危惧種に指定されています。ヤマトサンショウウオが数を減らす要因としては、水辺の開発や異常な気象条件、ペット目的の過剰な採取・取引、アメリカザリガニによる捕食被害が考えられます。中でも渥美半島の個体群は完全に絶滅してしまっただけではないかと心配されていましたが、2020 年に当園の飼育員がヤマトサンショウウオを渥美半島で再発見し、これを機に大学などの機関と協力し、活動を続けています。

活動内容としては、まず生息地の調査（分布調査、個体数調査）をしています。その結果、過去のデータと比べヤマトサンショウウオの分布は縮小し、危機的な状態で

あることが分かりました。こうした危機的な状況を打開すべく、当園では保全活動を行っています。具体的には、卵を現場から持ち帰って孵化させ、ある程度大きな幼生となってから現場に戻す放流を行っています。また、アメリカザリガニの駆除も行っています。その他にも、ヤマトサンショウウオは身近な生き物ですが、まだまだ認知度が低いです。しかし、保全活動を継続していくためには一般の方の理解も必要です。そのため、一般の方に対してヤマトサンショウウオの現状を知るきっかけ作りとして、「体験型」のヤマトサンショウウオの保全教育プログラムを新たに開発しました。

最後に、今回は当園で行っている取り組みを紹介させていただきました。動物園はゾウやホッキョクグマ等インパクトがあり、目を引く生き物がピックアップされがちです。しかし、アカモズやヤマトサンショウウオのように身近な我々だからこそできる活動というのがあるかと思えます。今回、皆様にはアカモズとヤマトサンショウウオに注目し紹介させていただきましたが、ぜひ同じように私たちの近くに生きている生き物たちに興味を持っていただけると嬉しいなと思えます。

**報 告**

**米山奨学生ツオルモン アリウナーさん  
卒業祝いの会** **鬼頭秀幸会員**  
3月16日(日)12:00～ 於：謝謝



**★ニコボックス**  
本多英司・鬼頭秀幸：動物園の大変な一面を学習できるかもと期待しています。櫻間様よろしくお願ひ。  
宮川嘉隆：誕生日をお祝い頂き。  
宇藤 信・鬼頭秀幸：入会記念日をお祝い頂き。  
保永真生：環境保全例会です。豊橋総合動植物公園の櫻間様どうぞよろしくお願ひ。  
岡本久永・石原聖季・太田和彦：保永委員長よろしくお願ひ。  
牧 岳大：3/9 全国 RYLA 委員長会議に ZOOM 出席し、3/11 青少年奉仕関連委員長会議でファシリテーターを務め、色々経験をさせて頂いております。得たものをクラブに何らかの形で還元できるようがんばります。

三輪桂司：IM アンケートにてギフトが当たりました。東三河地区の方との交流とガバナー卓話、時習館高校の校長、(株)HONE 社長の卓話等大変参考になりました。  
山口幹夫：例会参加の支援に感謝します。  
山本雅久：一昨日車をぶつけバンパーが取れました。新しいデザインに進化したと前向きにとらえて運転しています。  
鶴殿健次：元気ですか！本多会長に提案です。インスタ 1,000 フォロワーを目指すより、まずは中華古来やさんの 441 フォロワーを目指すのはいかがでしょうか？がんばれドラゴンズ。  
青木一臣ニコボックス委員長

**★幹事報告**  
・大船渡大規模山林火災被害義捐金について、RI 第 2760 地区ローターアクトより地区年次大会のご案内が届いております。

**★他クラブの例会変更**  
■3月24日(月) 豊橋南RC 親睦旅行  
■3月25日(火) 豊橋北RC クラブフォーラム  
田原バRC 花見例会(サイン無)  
■3月26日(水) 豊橋東RC 田原RC合同例会  
■3月27日(木) 田 原RC 豊橋東RCとの合同例会  
■4月 3日(木) 田 原RC 環境整備のため